



川崎小学校同窓会 創立 150 周年記念誌



目次

○目次	1
○刊行によせて…祝辞	2-8
○幹事会	9
○135・140・145・150 周年行事記録	10-11
○周年行事アトラクション	12
○寄贈品と周年行事記念品	13
○東海道スタンプラリー	14
○PTA バザー（川小フェスティバル）	15
○二十歳を祝う会	16-17
○総会・懇親会	18
○同窓会ことはじめ	19
○思い出のアルバム	20-23
○川崎小学校の沿革	24-25
○川崎小学校同窓会規約	26
○新旧役員・幹事会役員紹介	27
○編集後記	28



祝 辞

川崎市立川崎小学校創立

150 周年記念祝賀会を終えて

川崎小学校同窓会会長

後藤 和行



2023 年（令和 4 年）6 月 3 日（土）、川崎小学校同窓会主催による「川崎小学校創立 150 周年記念祝賀会」を盛況のうちに無事終えることができました。これもひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

本会は、大正 12 年 9 月の関東大震災で倒壊した校舎が新校舎として建ったとき、「校友会」として発足しました。現在ある資料からは、昭和 19 年で休会となりましたが、昭和 28 年の「創立 80 周年」、昭和 48 年の「100 周年」まで続けられ、休会となっておりました。平成 13 年に、簡照子氏・平岡清司氏・松本栄一氏を中心に「川崎小学校創立 135 年」の祝賀会を催そうという目的で、この会が再開しました。

当初、例会を月一度「校長室」をお借りして行いました（その後町内会館に変更）。時間をかけ案を練り、「135 周年・140 周年・145 周年・150 周年」と開催し、同窓生の結束の固さを感じました。また、その間にも卒業生の成人を祝す「新成人を祝う会」を毎年開催し、他にも入学・卒業式などの学校行事を通して生徒の皆さんの成長を見守ってきました。

2016 年（平成 28 年）から私が会長として取り組んでまいりました。私たちは、明治、大正、昭和、平成、令和と諸先生方を始め諸先輩方が幾多の時代と困難を乗り越え築き上げてきた伝統を引き継ぎ、教育後援会、振起会、PTA、地域町内会の皆様と共に、母校を見守り、引き続き応援していきます。本校の明るく元気で輝いている子どもたちや、伝統ある我が母校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

川崎市立川崎小学校創立 150 周年によせて

川崎小学校同窓会事務局長
西尾 喜明



先代の副会長の松本先輩は、兄の友人でしたので、大変かわいがってくださいました。教えられた事務局の主な仕事は、会合の案内を通知する事と、総会を円滑に成立させることの2つの柱です。会員の皆さんが快適に活動できるように支えられます。

私も、議事録と会合の案内の周知は大切だと思います。役員さんが、会の実情がわかり、積極的に会の活動にかかわって頂けます。

● まだまだ、至らないところがありますが、今後も、会が盛り上がっていくように事務局の2つの柱を守っていききたいと思います。



祝 創立150周年記念 川崎市立川崎小学校 2023年度撮影



川崎小学校 校長
山川 佳美



150 周年おめでとうございます。

伝統ある川崎小学校へ着任できたことを嬉しく思っています。

着任早々、母の友人から電話がかかってきました。そして、嬉しそうに『私も川崎小学校を卒業したのよ』と、私に話してくださいました。その言葉に、母校を愛してやまない思いを感じとることができました。

同窓会会長を担ってくださった方々を中心に、『20 歳を祝う会（旧：新成人を祝う会）』が代々行われていることを知り、驚いています。ここでも母校を愛する方々の熱い思いを感じることができました。そして、育っていく子どもたちを応援してくださる方々がいることに感謝の思いでいっぱいです。

現在、この川崎小学校の学舎を巣立っていかれた方々は、1 万を超えており、伝統の重みを感じています。

これから先も、多くの子どもたちが川崎小学校でたくさんの時間を過ごしていきます。その子どもたちが、川崎小学校を卒業したことを誇りに思えるように、子どもたちと共に『楽しい』を創ることをしていきたいです。



創立 150 周年記念事業をふりかえって

川崎小学校第 24 代校長

中臣 信丈



輝かしい歴史と伝統を積み重ね、地域と共に歩み続ける川崎小学校では、コロナ禍の令和3年度に以下の三つを目標に掲げ、記念事業の準備をスタートさせました。

- ①子ども達、保護者、職員にとって、思い出に残るあたたかい記念事業を目指していく。
- ②川崎小の教育活動に対してご尽力いただいていた方々と喜びを分かち合えるような記念事業を目指していく。
- ③過去の周年記念事業の概念にとらわれず、川崎小らしい記念事業を目指していく。

式典当日は、多数のご来賓にご参加いただき、これまでの歩みをふりかえるとともに、未来に向けて力強く始動する式典となりました。そして、150周年の記念事業を通して、子ども達、保護者、職員は、地域をはじめとする沢山の方々に深く愛され、力強く支えられていることを実感し、川崎小を今まで以上に誇らしく思えるようになりました。

同窓会の皆様には、記念事業に多大なるご尽力をいただき、本当にありがとうございました。同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

～心の支え川小同窓会～

川崎小学校第 23 代校長

吉新 一之



川崎小学校同窓会記念誌の発行、誠におめでとうございます。

私は平成23年4月から平成31年3月まで校長を務めましたが、その間、同窓会の皆様には学校との連携を深め、教育活動を支えていただき、心より感謝申し上げます。

同窓会の皆様は地域社会とも密接に関わり、子どもたちの成長を温かく見守ってくださいました。同窓会の皆様との交流は、私にとっても穏やかで温かな思い出です。特に、創立145周年・150周年記念同窓会では、世代を超えた交流が行われ、楽しい催しや思い出話が印象深く心に残っています。また、「二十歳を祝う会」も毎年、心温まる式典として感銘を受けました。

この素晴らしい活動が今後も続き、川崎小学校と同窓会のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

川崎小学校代 22 代校長
大井 澄子



川崎小学校に赴任した 1 年目に「135 周年」の同窓会がありました。私はそれまで 5 校に勤務しましたが「同窓会」と言うのは初めて聞きました。イメージのないまま現職の校長として出席させていただきましたが、想像していたよりはるかに参加者の数が多く、年齢の層も厚いことに驚かされました。

そして改めて 135 年という歴史が脈々とつながっていることを感じました。この後も同窓会が開催されるたびに声をかけていただきました。私も川崎小学校同窓会の一員であることに誇りを感じます。そして時間をかけて素晴らしい会の計画・主催をしてくださった方々に感謝の気持ちが尽きません。

同窓会が永く続くことを期待します。

「創立 150 周年後の未来に向けて」

川崎小学校教育後援会会長 第 12 代会長
飯島 元和



川崎小学校の応援団の一つである「川崎小学校教育後援会」は、同窓会の昭和 2 年より 2 年早い大正 14 年に設立されました。

応援団として 100 年の時を刻み、現在は、川崎小学校の教育振興に対して思いを寄せる地域の皆様の寄付で、主に入学式や卒業式に記念品を贈る取り組みを行っています。

現在の川崎小学校は、「全員参加、全員挙手」を大前提とした授業が評価されており、全国から研究の対象となっています。地域としては、喜ばしく誇らしく思っています。今後も更なる未来に向けて、同窓会や、振起会・PTA と共に川崎小学校を応援していきます。



川崎小学校振起会会長

酒井 一宏



川崎市立川崎小学校創立 150 周年、誠におめでとうございます。

私は、昭和 39 年川崎小学校を卒業しました。小学校の思い出としては、友達にも恵まれて 6 年間、楽しい学校生活を送られた事です。ただ残念なことに小川町、南町にそれなりに同窓生がいましたが、現在は、2 人だけになり、寂しい限りです。

娘が川崎小学校に入学し、28 代の P T A 会長を務めてことは、良い経験となり多くの方々に支えられ感謝してます。また、総合教育センターで、民間人として初めて、2 時間余り先生方への講師を務めました。私の業は紙の卸、小売業ですので講演の内容は、古紙についてで、先生方のこれまでの認識を改められたと思いました。このことは川崎小学校の卒業生として誇りに思い、大変良い体験でした。

現在、川崎小学校では、振起会の会長を務めています。振起会は、昭和 18 年に経済的困難な児童を援助する育成事業が始まりで、約 80 年間継続しております。皆様の寄付金で運営されておりますので、ご協力よろしくお願い致します。



川崎小学校父母と先生の会会長

堀内 誉志輝



私が川崎小学校に入学したのは 1996 年です。

あの頃の川崎小学校はまだ古い時代の名残があり、校庭で煙草を吸っている人やお酒を飲んでいる人がいました。

今考えると、ありえないような光景が当たり前のような時代でした。

それも古き良き時代だったのかもしれませんが。

川崎小学校を 2002 年に卒業して気が付けば 23 年も経っているため、同級生の半分以上は地元川崎を離れ、別の地域で住んでおり寂しい部分もありますが、時代の流れを感じながら地元川崎の地域貢献を少しでもできるように今後とも邁進していきます

茶道裏千家教授
梶川尚子（宗尚）



川崎小学校 150 周年おめでとうございます。
裏千家茶道の指導者として、茶道クラブと 6 年生の伝統文化の授業を担当させて頂いております。

茶道というと堅苦しいイメージが有るかと思いますが、日本の伝統文化、そして思いやりの心を大切にする文化であることを伝えられる様指導をしております。クラブでは、お茶を点てる所作を日常生活に活かすと共に、他者を思いやる気持ちを大切にして貰えるよう心がけております。

6 年生の授業の際は毎年「八珪尚可磨」という禅語のお話をしています。
完全無欠と思われるものでも、尚磨き続けることが大切と言う意味と共に、誰でも夫々に持っている特性を大切に磨き伸ばして行って貰いたいと願う意味を込めています。

川崎小学校の同窓生として、母校で茶道指導をさせていただける事に感謝すると共に、卒業生の皆様のご活躍と同窓会のご発展を祈念申し上げます。

～長い時の流れの中で 育んだ絆
大切だ 続けて行こう～

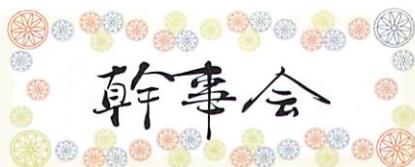
川崎中学校同窓会元会長
昭和 32 年卒 荒井 善清



川崎小学校創立 150 周年の大同窓会が同体育館で盛大に開かれ、
北海道・釧路に 2021 年 9 月に移住していた私も駆けつけました。

又今年 6 月 8 日には川崎中学校創立 70 周年の大同窓会が開催され、これも北海道から駆けつけました。私自身、川崎中学校の同窓会では 北海道に移住するまでの約 7 年間会長を務め、創立 60 周年、65 周年時記念同窓会を開催しましたので小・中共に歴史の重みを十分感じ、同時に、小学校の 6 年間、中学校の 3 年間、今や、80 歳を迎える私ですが、沢山の思い出が蘇ります。

これからも何代も何代も同窓会が続くことを願ってやみません。



役員会で決まった事項の検討・意見交換・記念品選び・文章整理・住所等の登録確認・発送書類の仕分け・書類の手配り等、3ヶ月に1度集まり行いました。

ひと仕事終え、親睦を図る会を行なっておりました。



川崎小学校への思い



昭和 30 年卒
森下 より子

2023 年の「川崎小学校創立 150 周年記念祝賀会」という同窓会に参加しました。

体育館を使用しての開催に身近な親しみを感じながら参加しましたが、暖かい雰囲気の中で懐かしい友人たちとお会いし、思い出話で大変盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

振り返ると、私が在学中に創立 80 周年を迎え校庭に「80」の人文字を書いた航空写真が卒業アルバムに載った事も懐かしく思い出しました。あれから「70 年」の月日が経っている事に感慨をおぼえます。

小学校は 6 歳から 12 歳までの 6 年間は人間形成の上で一番大事な時期。1 年生から少しずつ社会に参加して級友や仲間を作り、6 年間の成長が大人になる土台を築く所だと思います。私にとっては川崎小学校での 6 年間がとても有意義であったと思っています。

昨今の時代の変化で「同窓会行事」が激変して、時に「同窓会業者」の管理で行われる所もありましたが我が校は卒業生による役員・幹事の運営で、同窓会が続いている事も素晴らしい事だと思います

これからも さらなる川崎小学校と同窓会の発展を祈念し応援して参ります。
残り少ない人生、友と一緒に大事に歩みたいと思っています。

友と私（友を大切に）

私本年（2024 年）12 月で 80 歳に相成ります。

私どもの時代は貧しく大変な時代では在りましたが、また楽しい時代でもありました。

決して裕福ではありませんが皆元気で生活を過ごせる時代でもありました。

私事ですすが私が 17 歳の冬、病で父を亡くしまして母・私・4 人の妹の 6 人家族になりました。大変な時では在りましたが、幸い皆元気で明るく病気になることも無く過しています。今私が思いますに、私に良き友がいました。今でも付き合いのある友、早くして先に旅立たれた友もいます。が、私にとってかけがえの無い友です。
残り少ない人生、友と一緒に大事に歩みたいと思っています。



昭和 32 年卒（幹事）
佐藤 功

創立135年・140年・145年・150年祝賀会

各祝賀会に5年の歳月をかけ、準備をしまいいりました。

役員会で協議したことを幹事会の中で確認しあいご協力いただきながら進めました。

そのお陰か、会当日もいつも事が速やかに運ばれ、会員同士の親睦も深まっていきました。

(周年行事担当様記載)

会の進行

学校より旧校長・現校長・教頭他、町内会長・PTA 会長など、
地域の方々をお招きし、卒業生が集りました。



案内状の発送

幹事の皆さま・役員が集まり、チラシを折るところから封筒に入れ、近所で
あれば手分けしてポストに配布まで沢山の仕事をいたしました。



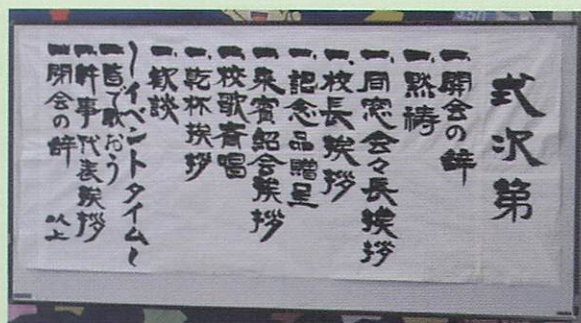
乾杯挨拶
大室 享 (昭和 18 年卒)



受付・会計様 当日は沢山の方が
見えるので緊張感も増しました

創立祝賀会に限らず、様々な行事で使用する書は536年卒業の米山進氏によるものです。

(書家としてご活躍中) 開式の式辞・会場舞台上の横断幕・案内看板・寄贈品目録・成人式の立看板や横断幕等々いつもお願いいたしました。





周年行事アトラクション

- 長唄三味線の二重奏…
三浦氏
杵屋勝芳歌
(昭和26年卒 野村 歌子さん)
- 講談…すみれ亭梅華
(昭和32年卒 大木 宏子さん)
- 生徒の合唱♪



○川崎小学校 PTA コーラス



○並木合唱団 & フラダンス



○市川克己さんの朗読



○BGM 箏曲演奏♪



- 夏木かずみさんの歌
(創立100周年時の卒業生)
- 親父バンド演奏



ご出席いただきました方々は卒業生です。
それぞれ各界でご活躍中の方ばかり。その姿を間近で拝見できました。

寄贈品と記念品

寄贈品 会の案内状を送付のとき「協賛金」の依頼をいたしました。

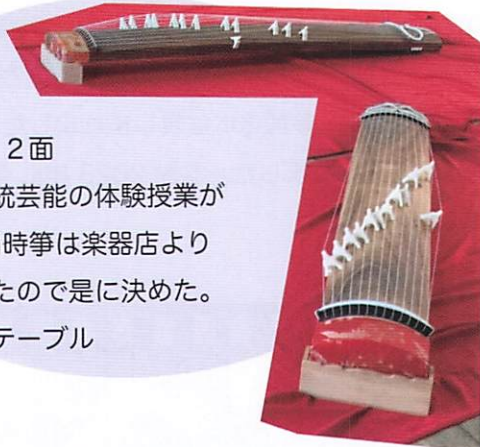
協賛金で 次のものを 生徒・学校に 贈呈しました。

135 年

○箏（こと） 2面

学校で伝統芸能の体験授業があり、当時箏は楽器店より借りていたのではに決めた。

○折りたたみテーブル



140 年

○ティンパニー 1台

音楽の授業・合奏曲に使用する為。



145 年



○紅白幕 一式

現在も式のとき使用されている。



○応援旗 1振

贈呈に対し川崎市福田市長より感謝状を贈与される。

150 年



参加記念品

参加者より会費を徴収し、当日の弁当や飲み物のほかに参加記念品を同窓会名前入りで作成、進呈しました。

135 年 記念タオル

140 年 フリクションボールペン

145 年 懐中電灯付きボールペン

150 年 ランタン式卓上ライト



蓋を開けると
光ります！

東海道スタンプラリー

2023年に東海道川崎宿起立400年を迎えるにあたり、東海道沿いの歴史と文化をいかしたまちづくりをすすめていこうという市民活動がはじまりました。

その一環として、六郷から下並木にかけてのウォークスタンプラリーが行われ、川崎小学校も坂本九の母校としてスタンプポイントのひとつとなり、2015年より同窓会が担当することとなりました。

坂本九のことを知ってもらおうと九ちゃんクイズを行い、参加者には親しまれました。毎年秋に行っていたため同窓会の皆、寒さに震えながらも楽しくがんばりました。なお2023年に400年を迎えたことを区切りに川小前の同窓会は撤退いたしました。



監事
吉田 秋季
(昭和14年卒)



川崎小学校 フェスティバル

前同窓会会長
平岡 清司（昭和 14 年卒）



川崎小学校の授業参観の後、校庭で PTA 主催の川小フェスティバルに各町内会と共に参加していました。アイスコーヒーとクッキーを担当し、その横で手作りの竹とんぼなど手作りのおもちゃを販売したこともありました。

クッキーは障害の方が通う通所施設の手作りで、バザーだけでなく、成人式のお土産にも取り寄せました。

立ち上げにご尽力くださいました簡 照子さん（緑樹褒章授与さる）の発案です。
※川小フェスティバルは現在開催されておりません。



ありがとう
ございましたあー



二十歳を祝う会

2007年より成人の日にその年度に二十歳を迎える卒業生及び六年生時の担任の先生を川崎小学校にお招きし懇親会を開いてきました。当初は新成人を祝う会という名称でした。集まった皆様の近況や将来の抱負などを話し懇談した後、校歌斉唱、記念撮影と進み 短い時間を惜しみつつ散会となります。

ある年には大雪で慣れない着物姿で苦労していた方、もうお子さんがいらっしやると話されていた方、または終了間際に何とか間に合ったと息を切らして来た方などいろいろと沢山の人が参加されてきました。また、コロナ禍で中止せざるを得ない時もありました。しかし先生、生徒として久々の再会で当時を懐かしみ楽しい笑顔が見えた時私どもも、やって良かったと嬉しい気持ちになり今日に至っております。

二十歳を祝う会 実行委員長 吉原 弘和 (昭和51年卒)



平成 19 年



将来の夢を聞いている時は、私達も希望をいだいたような楽しいひと時でありました。



平成 20 年



寒い玄関の受付で、新成人の方々を待っているのはちょっとぴりつくもありましたが、その倍くらい元気をもらいました。



二十歳を祝う会
受付・会計担当
比氣 維子 (昭和30年卒)

「新成人を祝う会」に参加して

平成12年卒業生 飯島 大知



同窓会から「新成人を祝う会」の案内を頂き、卒業して8年振りに正門の前に立ちました。校門、桜の木、岩石園等変わらない風景に8年前に戻ったような懐かしい機が沸きました。

当日は、我々30名程度の他、当時の校長先生や担任の先生も参加していただきました。8年振りに顔を合わせた友人が多く、「元気だった、今何してる、彼奴どうしてる」など話が弾み、時間の過ぎるのを忘れてしまうほど、川崎小学校での思い出や現在の状況話で良いひと時を過ごしました。

お開きの際には、先輩の皆様には全員で声を合わせてお礼を述べさせていただきました。ありがとうございました。



花束贈呈♪



高野先生・丸山先生
ご参加ありがとうございました



総会・懇親会

麦の郷の2階で 年度計画・報告の会議のほか
各周年行事の相談・打合せ・配布作業など一緒に
行い、会員同士の繋がりも強くなりました。

総会後はそのまま麦の郷でお弁当・茶・菓子な
どで懇親会を行いました。



川崎小學校同窓會ことはじめ

～同窓会八十周年記念誌に掲載～

大正十二年九月一日 関東大震災のため川崎小学校砂子校舎倒壊、新校舎が現位置に建設された。此の機会に、卒業生の間より同窓生一同が顔を合わせ、親睦を計りたいと云う声が高まり、御大典を記念として、前校長谷口 金先生が率先して音頭をとられ、昭和二年「校友会」の発足を見た。

初代会長には、先々代校長溝口 顕吉氏が就任され、副会長には卒業生の中から高橋正男氏が選ばれた。二代目会長は館上 武雄氏、副会長小井戸 正六氏であった。

当時、会員数は約百名足らずで、第一回総会を開催し、此の際は常に名士による講演等が計画された。会費は、年額一円二十銭くらいでその経費の殆どは、ガリバン印刷による会員の消息、名簿を印刷したパンフレットの刊行に当てられた。

こうして、年と共に会員数の増加をみ、昭和六年頃には、パンフレットから折畳式の会報となり、昭和十年頃には、写真凸版等も入った立派な小冊子が、配布されるようになり、会員数五百名位となり、総会は講堂にあふれる程の盛況をみ、名実ともに充実した校友会となっていた。

春は多摩川園、夏は扇島、又秋の大運動会には売店を開催する等、会員の親睦を図る企てはめざましいものがありました。

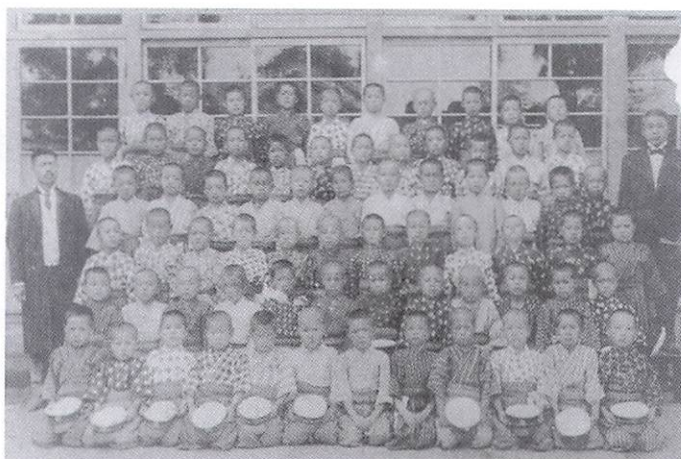
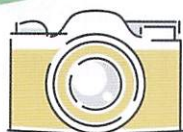
このように、年毎に発展の一路をたどっていったが、太平洋戦争の勃発により、継続困難におちいり、昭和十九年、遂に中止のやむなきに到った。尚当時の帳簿記録等は昭和二十年四月空襲により全部消失してしまった。

本年八十周年を迎えるに当り、同窓会の復活が呼ばれ、昭和二十八年八月九日、同窓会準備会がもたれ、続いて卒業生の現状把握の仕事から、着々と創立の準備が進んでいった。即ち学区の各町内にて、卒業生の調査をなし、小田・新町・宮前・旭町学区の卒業生について各その学校を通じて調査をした。

続いて、発揮人を選出同九月十三日第一回発揮人会を川崎小学校に開催して名簿整理をなし、千三百名の会員調査を済ませた。

同年九月二十日第二回、十月二十日第三回の発起人会を開催し規約原案及び事業案、予算案等を作成し現在、役員の選衝の段取りになっているが初代会長には、現川崎商工会議所会頭根本 茂氏が最も有力である、創立総会は八十周年記念日の十一月一日と決定着々準備を進めている。

思い出の アルバム











川崎小学校同窓会沿革



川崎小学校 開校の頃

1872 新橋—横浜間鉄道開通する
1877 東京大学開校
1889 東海道本線全通

世界では 1876 電話発明 (ベル)
1879 電球発明 (エジソン)

80 周年の頃

1954 テレビ放送開始
1960 カラー放送開始

80 周年記念誌より

1923 関東大震災	大正 12 年 9 月 1 日 関東大震災で倒壊後新校舎がたちその時「校友会」発足	
	校友会発足時 会員 100 名足らず 年会費 1 円 20 銭 会合で名士の方を呼び講演会 会費でガリ版りの名簿・会員の消息を通知	会 長 溝口 顕吉 2 代目 館上 武雄 副会長 高橋 正男 2 代目 小井戸 正六

昭和

16 年～ 世界大戦	6 年	会報が折りたたみとなる	会員 500 名 会長 根本 茂が有力
	10 年	凸版印刷になり写真を入れる 総会を講堂で行い盛会	
	19 年	毎年開催していたが 戦争により中止	
	20 年	空襲で帳簿他 全消失	会長 直喜 進
	28 年	8 月 9 日 同窓会準備会が発足 80 周年を記念し同窓会開催 記念誌と名簿作成	
	48 年	100 周年を記に倉庫にある資料で名簿を整理 名簿・記念誌作成	

100 周年の頃

1964 東京オリンピック
1970 大阪万博
1972 札幌オリンピック
1973 石油ショック
トイレットペーパー危機



2001 小泉純一郎 内閣発足	2001 年 5 月	川崎小学校校長室にて 135 周年記念式典を目的に同窓会準備会を発足 参加者 平岡 清司 簡 照子 松本 栄一 米山 進 西尾 喜明 白戸 明美 岡田 達雄 柴田 実 後藤 和行 吉田 秋季 市川 克己 田制 和子 ではじまる
2001 JR 東日本 Suika 導入	6 月	役員決める 相談役 簡 照子 会 長 平岡 清司 副会長 松本 栄一 米山 進 事務局長 西尾 喜明 事務局 田制 和子 書 記 白戸 明美
2002 公立校 週 5 日制		
2007 郵政事業 民営化	2007 年 1 月	成人を祝う会を小学校のオープンルームで開催 是より毎年開催する 参加者 校長 教頭 当時の担任 PTA 会長と 卒業生 内容 記念品・写真たて 弁当 会場内で コーヒーのサービス 記念写真（後日参加者へ送付）
2008 北京 オリンピック 開催	2007 年 9 月	学校内バザー授業参観終了後 校庭で PTA のバザーがあり参加 鶴見区内の通所施設よりクッキーを仕入れアイスコーヒーと共に販売
	2008 年 11 月 1 日	創立 135 周年記念祝賀会を小学校体育館で開催 400 名の来賓・会員参加 以後 5 年ごと 140 年・145 年・150 年を開催する 会員より協賛金を募り小学校の備品・教材等を寄贈する 会費で記念品を作り記念とする
	2011 東日本 大震災	
2016 18 歳 選挙権 導入	2016 年頃 総会	当初「親睦会」として始まり、2 回目以降総会となる 会の事業報告案 会員相互の親睦を計る 各周年の記念行事には運営上欠かせない 幹事さん方を得ることが出来た 総会後親睦会を行い会員の友好を深めた 以後毎年開催
2019 消費税 10%	2020 コロナ 5 類	東海道スタンプラリー 区役所・地域振興課の発案で東海道をめぐりスタンプを集める行事に参加 平成 23 年まで行う
2021 東京オリンピック		総会・親睦会 現在では幹事会総会となり、 事業報告・計画・決算・予算など行い その後親睦を計っている
2022 安倍首相暗殺		
2024 物価高		



川崎小学校同窓会規約

第1章 総則

第1条 本会は 川崎小学校同窓会と称す。

第2条 本会は 川崎市立川崎小学校に在籍した個人を以って組織する。
但し、趣旨に賛同する者の入会は妨げない。

第3条 本会の事務所は会長宅に置く。

第2章 目的

第4条 本会は 相互扶助の精神に基づき、会員の親睦と会の発展、向上を図るを以って目的とする。

第3章 事業

第5条 本会は 前条の目的を達するため、次の事業を行う。

- 1 本会の発展、向上の為に調査、研究。
- 2 会員の福利増進に関する事業。
- 3 その他本会の目的達成に必要な事業。

第4章 役員

第6条 本会に次の役員を置く。

- 1 会長 …………… 1名
- 2 副会長 …………若干名
- 3 理事 ……………若干名
- 4 会計 …………… 2名
- 5 監事 …………… 2名

第7条 会長、副会長及び理事は、役員会において選出する。

第8条 会計は、役員会において理事の中から選出する。

第9条 監事は、役員会において会員の中から選出する。

第10条 役員会の任期は2年とし再任を妨げない。

第11条 会長は、役員会の議を経て顧問及び相談役を委嘱することが出来る。

第5章 管理

第12条 会長は、本会を代表し会務を統轄する。

第13条 副会長は、会長を補佐し会長事故ある時はその職務を代行する。

第14条 理事は、役員会を構成して会務の執行に当たる。

第15条 会計は、本会の会計事務を処理し、監事は会計監査の責に任ずる。

第6章 会議

第16条 会議は、役員会とする。

第17条 役員は、会長が必要と認めた時、また理事の半数以上のものが開催事由を提示して開催を請求した時これを召集する。

第18条 次の事項に付いては、役員会の決議を経なければならない。

- 1 収支予算及び決算報告
- 2 規約の改正
- 3 本会の解散
- 4 その他役員会において、必要と認めた事項

第19条 会議の議長は、会長これに当たる。

第20条 会議の議長は出席者の過半数を以って決する。賛・否同数の場合は、議長が決する。

第6章 会計

第21条 本会の経費は、寄付金、行事の参加費及びその他の収入を当てる。

第22条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附則 本規約に定めていない事項は役員会の議を経て定める。

川崎小学校同窓会の発足は昭和28年11月1日。

川崎小学校同窓会 新旧 役員の流れ

発足時

役職	卒業年度	氏名
会 長	14	平岡 清司
相談役	15	簡 照子
相談役	18	大室 享
副会長	26	松本 栄一
書記・会計	36	白戸 明美
会 計	36	佐藤 ひとみ
会 計	30	比氣 維子
監 事	36	米山 進
監 事	53	田制 和子
事 務	36	西尾 喜明
理 事	26	岡田 達雄
理 事	40	飯島 元和
理 事	32	後藤 和行
理 事	32	吉田 秋季
理 事	32	市川 克己
理 事	39	酒井 一宏
理 事	30	柴田 実
理 事	30	津田谷 芳春
理 事	32	野沢 けさ子
理 事	32	穴澤 琴栄

現 在

役職	卒業年度	氏名
会 長	32	後藤 和行
相談役	15	簡 照子
副会長	36	米山 進
副会長	40	飯島 元和
会 計	51	吉原 弘和
会 計	53	田制 和子
監 事	32	吉田 秋季
監 事	37	原田 町子
事務局	36	西尾 喜明
理 事	39	酒井 一宏
理 事	42	絹谷 みどり
理 事	32	市川 克己
理 事	32	為我井 保磨
理 事	43	簡 章二
理 事	60	竹田 絵美
会計監査	36	白戸 明美
会計監査	30	比氣 維子

(2024 年 5 月現在)

編集後記

川崎小学校同窓会の 22 年間の各行事を通じて、沢山の方々に出会いとても楽しい思い出を作っていただきました。伝統ある川崎小学校の同窓会として卒業生として、微力ながら学校・生徒の皆さんを応援して行こうと思います。

後に続く方々と共に、一緒に力を合わせて行きましょう。

会員の連絡先等は、多くの方々のご尽力によりわかり、ご案内もしておりますが、昨今の状況で「個人情報」を公開することは出来ません。

同窓会事務局でデータを大切に保管し、必要なときに役員会・幹事会で責任を持ち使用させていただきます。

又、このたび記念誌発行に当たり、寄稿をご快諾してくださった皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

昭和 36 年卒 白戸 明美

川崎市立川崎小学校 創立 150 周年記念誌

発行 2025 年 5 月

発行者 川崎小学校同窓会会長 後藤 和行

編集 川崎小学校同窓会記念誌編集委員会

STAFF 後藤 和行 比氣 維子 白戸 明美

吉原 弘和 田制 和子

協力・瀧山 幸代

表紙題字 昭和 36 年卒 米山 進

川崎小学校同窓会ホームページ

<http://www.kawasho.org/index.htm>

